

22 地形条件を考慮した路網整備適地の判定



WebA°-ジ°

技術のポイント

森林内の道路網(路網)は、森林管理や林業経営において不可欠な基盤です。しかし、急傾斜地など地形条件の厳しい場所では、路網の損壊が発生しやすいため、地形条件の良い場所で路網を整備する必要があります。そこで、地形条件を考慮した路網整備適地の判定方法を、岐阜県森林研究所と共同で開発しました。なお、道路区分としては、林業専用道と森林作業道を想定しています。

連携・橋渡しの方向

判定に用いる地図は解像度1m程度の地形データが存在する地域で作成可能です。地域における路網整備適地を検討したい森林・林業関係者の方との連携を希望します。

詳細情報

・研究成果：

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/seikasenshu/2024/documents/p20-21.pdf>

・解説資料は岐阜県森林研究所のHPで公開しています。

<https://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/shiyou/santisaigairisk.html>

・地図(岐阜県内に限る)はぎふ森林情報マップで公開しています。

<https://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/shiyou/sinrinwebmap.html>

担当者

林業工学研究領域・白澤紘明

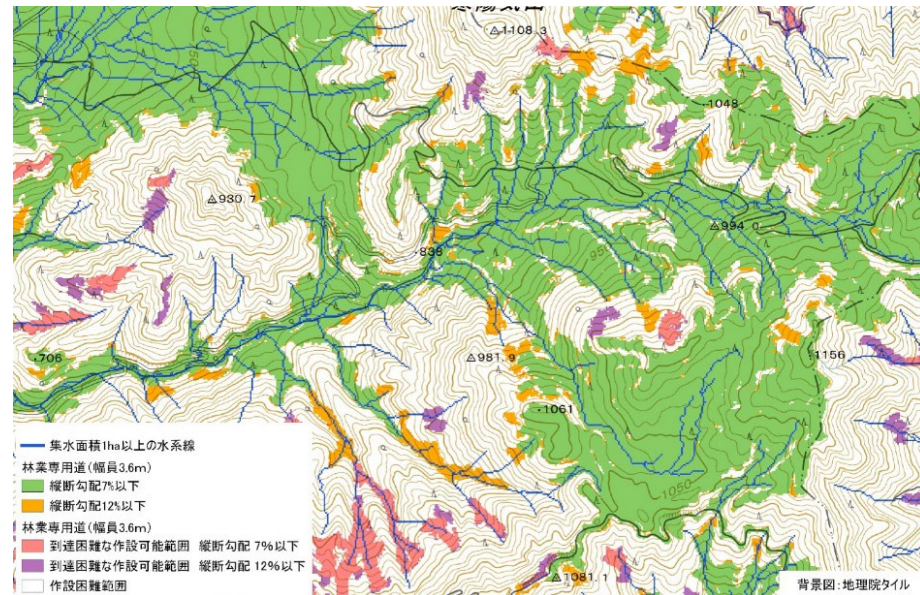


図1 路網整備難易度推定図

この図は作設指針に則った路網整備の難易度を示しています。判定はこれらの地図を用いて行います。

■ 謝辞

本研究は、岐阜県森林研究所と共同で実施しました。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>